

- 日 程：2024年2月16日（金）～18日（日）の2泊3日にて実施
- 参加者：地域への「関わりしる」を求める方、および、セカンドライフを地方に求める方をターゲットに14名の参加
- エリア：小田原市・南足柄市・中井町・大井町・松田町・開成町・山北町
- 協 力：ホテルとぞんコンフォート大雄山（共同運営）、株式会社リロクラブ（広報協力）、お仕事受入先（10箇所）

メン屋の情報」が投稿されたり、「道の駅 / 足柄・金太郎のふるさと」「小田原フラワーパーク」「最乗寺」「まつだ桜まつり」「BIOTOPIA」「ヤオマサ（地元スーパー）」などへ観光に行ったりしていたことが分かった。

2日目 (2/17.土)

2日目からは選択制による【地域のお仕事体験1】となり、各々が直接、お仕事場へ出向いていただく。場所や距離を調べてそれぞれの時間に出発していた。

本日は6箇所でのお仕事体験を実施した。まずは、山北町。中川温泉信玄館でのお仕事体験。山間、純和風の

温泉旅館でのお仕事体験として、朝食の下膳、客室・浴室清掃、タオルたたみなどを実施した。バックヤードを見る貴重な体験の機会となった / 3名参加。NPO 法人共和のもりでは、森林保全・管理を行うNPOでのお仕事体験として、森林整備の一貫として行われる薪づくりや椎茸の菌打ちなどを実施した。チェーンソーや薪割り機を使って薪づくり作業に汗を流した / 3名参加。道の駅「山北」では、比較的コンパクトな道の駅でのお仕事体験として、商品の陳列サポート、販売サポート、お客様対応などを実施した / 1名参加。大井町は、水の管理から徹底してこだわってトマトを栽培しているあしがら





相模湾の鮮魚

あしながの
手打ち蕎麦・地粉



名産・桜花漬のおむすび

5蔵の地酒



箱根・小田原

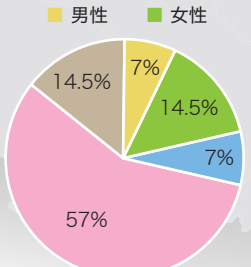
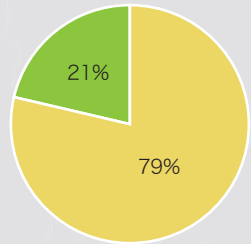
内藤農園でのお仕事。甘いトマトを栽培するトマト農家
でのお仕事体験として、ひたすら芽かき作業を実施。時
には甘いトマトの試食もさせていただきご満悦の様子で
あった／2名参加。中井町は、広大な敷地で露地野菜を
育てる農家でのお仕事体験として、ダイコンやニンジン
の播種作業、トンネルの設置作業、収穫作業、梱包作業
などを実施した。風が吹き寒い中ではあったが、みな楽
しく黙々と作業に没頭した。ごほうびとして、新鮮とれ
たて野菜の鍋を提供いただき、ランチ交流を行なった／
3名参加。小田原市は、あきさわ園でのお仕事体験である。
適地適作にてさまざまな作物を育てる農園でのお仕事体

験として、玉ネギ畑の草むしり等の整備、キウイフルー
ツの剪定、梅の剪定などを実施した。農園でのお仕事は
採れたて野菜の昼食をご提供いただき、ご褒美とともに
交流を楽しむことができた／3名参加。

午後は参加者が自由に過ごすフリープログラムであ
る。LINE オープンチャットのコンシェルジュ機能を活
用した観光へ行く方、コワーキングスペースでテレワ
ークする人など様々であった。LINE への投稿から「芦ノ湖」
「箒杉」「おんりーゆー」「箱根湯寮」「足柄神社」へ観光
に行く方、箒沢荘喫茶室にてテレワークや女将さんとの
交流をする様子などが分かった。また、夕食は各自、そ



■ 参加者の属性（性・年代）



■ 参加者募集チラシ／ツアー行程



それぞれに取っていたようである。



3日目 (2/18.日)

最終日も選択制による【地域のお仕事体験2】となり、各々が直接、お仕事場へ出向いていただく。本日も6箇所に分かれてのお仕事体験を実施した。山北町では昨日に続き NPO 法人共和のもりでのお仕事体験 / 2名参加と信玄の隠し湯とされる日帰り温泉、中川温泉ぶなの湯でのお仕事体験として、入館前清掃、設備点検、湯質検査、お客様の受入などを実施した。温泉好きという参加者からは「バックヤードの仕事体験が見れて非常に楽しい」と話しながら仕事に没頭していた / 2名参加。南足柄市では、丘の上にある小規模飼育にて養豚を行う農場こぶた畑でのお仕事体験として、散らかっていた薪の整理、敷地内のみかんの残もぎ、豚の餌づくりなどを実施した / 2名参加。松田町では、関東最大級のドッグラン施設、寄七つ星ドッグランでのお仕事体験として、犬の散歩、施設の見回り、施設で活用する鹿の角磨きなどを実施した / 1名参加。開成町では、土づくりからこだわり抜いたイチゴ農家、佐野ファームでのお仕事体験として、イチゴの苗の管理作業を実施。時にはイチゴの試食もさせていただいたようである / 3名参加。そして、昨日に引き続き、小田原市のあきさわ園でのお仕事体験を



行なった / 4名参加。

午後からは、リフレクションのため南足柄市女性センターへ全員集合した。2泊3日と限られた日程であったため、今回体験できなかったお仕事についても理解や知見を深めていただくため、体験したお仕事についての共有を行なった。多くの質疑が飛び交い盛り上がりつつあった様子などから、あしがらの魅力の感じていただくことにつながったと実感した。解散後も会場に残って、今後の関わり方などの相談を受けるなど、参加者にとって非常に良い機会になったことが伺えた。

事業評価

1. 調査の目的

本調査は、令和5年度「県西地域における広域ワーケーションモデル事業の企画・運営等業務委託」（神奈川県）の一環として実施したワーケーションモデルツアー（以下「ワーケーション」）、農ある暮らし「お試し暮らし型」ワーケーション（2023年11月10日～12日）と地域のお仕事体験「ワーキングホリデー型」ワーケーション（2024年2月16日～18日）の事業評価を目的に実施した。

2. 調査方法

1) 対象者

本調査は、2つのワーケーションに参加した成人20名（男性12名：60.0%、女性8名：40.0%）を対象とした（表1）。参加者の婚姻状況は、「既婚」13名（65.0%）、「未婚（離死別含む）」7名（35.0%）、子供の有無は、「有り」9名（45.0%）、「無し」11名（55.0%）であった。また、ワーケーションの終了後、それぞれのツアーの受け入れ協力者16名（農ある暮らし「お試し暮らし型」ワーケーション：4名、地域のお仕事体験「ワーキングホリデー型」ワーケーション：12名）に受け入れの感想やモデルツアーの良かった点・改善点などについて調査票を用いて尋ねた。

表1 対象者の性・年代

	農ある暮らし「お試し暮らし型」ワーケーション（6名）		地域のお仕事体験「ワーキングホリデー型」ワーケーション（14名）	
	男性（1名）	女性（5名）	男性（11名）	女性（3名）
20歳代 / 1名	0名	0名	1名	0名
30歳代 / 3名	1名	0名	2名	0名
40歳代 / 5名	0名	4名	1名	0名
50歳代 / 9名	0名	1名	5名	3名
60歳代 / 2名	0名	0名	2名	0名

2) 調査概要と質問項目

参加者には、モデルツアーの事業評価を目的に、モデルツアー初日と最終日に質問紙調査を実施した。受け入れ協力者へは終了後に質問紙調査を実施した。

3. 事前調査の結果

1) 参加者の働き方のスタイル、

働いている企業の従業員数、勤務地

参加者の働き方のスタイルは、「勤務日はほぼ在宅勤務」が6名（30.0%）で最も多く、次いで「在宅勤務とオフィス勤務の両方（在宅勤務の割合が多い）」5名（25.0%）、「勤務日はほぼオフィス勤務」4名（20.0%）、「在宅勤務とオフィス勤務の両方（オフィス勤務の割合が多い）」2名（10.0%）の順であった（無回答1名）。その他（2名）の回答は、「フリーランス」「2つの仕事を兼業」であった。働いている企業の従業員規模は、「10人以下」3名（15.0%）、「11～50人」4名（20.0%）、「51～100人」2名（10.0%）、

「101～300人」0名（0.0%）、「301～1000人」3名（15.0%）、「1001人以上」6名（30.0%）、「分からない」1名（5.0%）、「無回答」1名（5.0%）であった。勤務地は、東京都10名（港区・2名、板橋区、品川区、渋谷区、中央区、八王子市・各1名、市区町村記載無し・3名）、神奈川県7名（横浜市・2名、厚木市、逗子市36 / 三浦市、伊勢原市、川崎市、相模原市・各1名）、秋田県1名（秋田市）、愛知県1名（名古屋市）、台湾1名（都市の記載無し）であった。

2) 神奈川県西部（小田原市、南足柄市、足柄上郡、足柄下郡）との関わり（複数回答）

「神奈川県西部（小田原市、南足柄市、足柄上郡、足柄下郡）との関わり」では、「観光で訪れたことがある」が13名（65.0%）で最も多く、次いで「仕事で訪れたことがある」4名（20.0%）、「知り合いがいる」「関係がない」各3名（15.0%）の順であった。その他（2名）の回答は「通りすぎたことがある」「子供の試合」であった。

3) 今回のワーケーションを知ったきっかけ（複数回答）

「ワーケーションを知ったきっかけ」では、「メールマガジン（発信元：クラブオブ Lumine style、JAF、福利厚生系のメルマガ、三井ダイレクト損保）」が7名（35.0%）で最も多く、次いで「神奈川大井の里体験観光協会のHP、SNS、ダイレクトメール」6名（50.0%）、「神奈川県のHP、SNS」2名（10.0%）、「各種情報サイト（サイト名：SMOUT）」、「募集チラシ（入手した場所：コンコントフィールド）」が各1名（5.0%）であった。その他（6名）の回答は「友人・知人からの紹介（4名）」、「新聞」「SMART NEWS」であった。

4) 今回、提示したツアー及び神奈川県西部のどのような点に魅力を感じるか（複数回答）

「今回、提示したツアー及び神奈川県西部のどのような点に魅力を感じるか」の集計結果を図1に示す。「自然の中でリフレッシュ効果が得られそう」「都心からの電車でのアクセスが良い」が各10名（50.0%）で最も多く、次いで、「農業体験ができる」「地域の人と交流する機会を得られそう」各9名（45.0%）、「温泉地である」「地元の食材・グルメを堪能できそう」各7名（35.0%）の順であった。

5) ワーケーションを実施したい理由（複数回答）

「ワーケーションを実施したい理由」の集計結果を図2に示す。「リフレッシュ効果が得られそうだから」が13名（65.0%）で最も多く、次いで「テレワークができる職場や業務内容だから」「働く場所にこだわらなくてすむようになったから」各8名（40.0%）、「混雑時期を避けて旅行ができそう」「働き方改革（ワークライフバランスを含む）が推進できそう」各5名（40.0%）の順であった。その他（2名）の回答は「自分の理想の暮らしができそう」「何となく」であった。

6) ワーケーションに誰と一緒にいきたいか

「ワーケーションに誰と一緒にいきたいか」では、「1人」

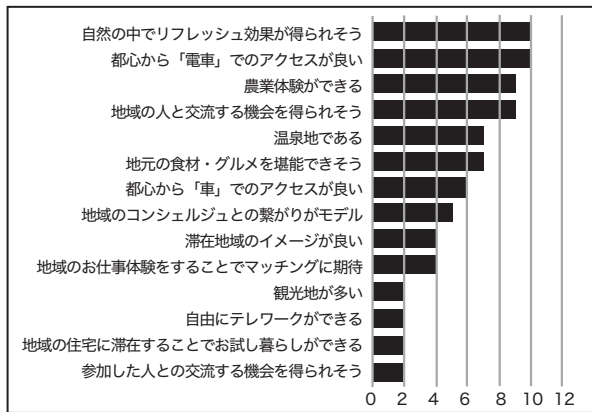


図1 今回、提示したツアー及び神奈川県西部のどのような点に魅力を感じるか (複数回答可)

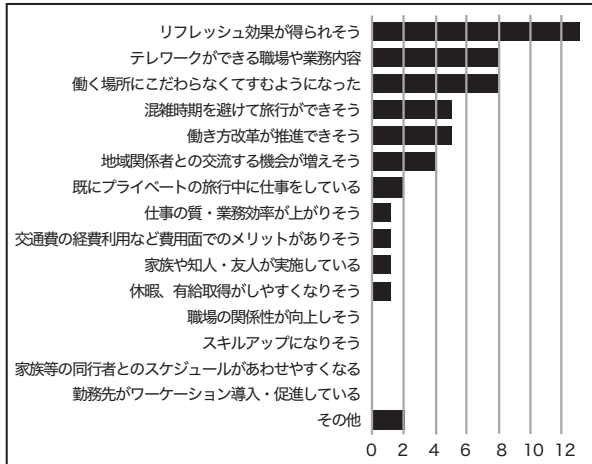


図2 ワーケーションを実施したい理由 (複数回答可)

が8名(40.0%)で最も多く、次いで「家族や恋人」7名(35.0%)、「異業種の友人や知り合い」「同業種の友人や知り合い」「会社の同僚(少人数)」各1名(5.0%)の順であった(無回答・欠損2名)。

4. 事後評価の結果

1) 今回のワーケーションの価格について

「今回のワーケーションの価格」は、12名(60.0%)が「ちょうど良かった」、6名(30.0%)が「安いと感じた」、2名(10.0%)が「高いと感じた」と回答した。

2) 今回のワーケーションの日数について

「今回のワーケーションの日数」は、19名(95.0%)が「ちょうど良かった」、1名(5.0%)が「長い期間が良い」(7泊8日)と回答した。

3) 今回のワーケーションの実施時期について

「今回のワーケーションの実施時期」は、17名(85.0%)が「ちょうど良かった」、残りの3名は「春頃」「5月」「8月」が良いと回答した。

4) 今回のワーケーション全体の満足度

「今回のワーケーション全体の満足度」は、12名(60.0%)が「とても満足した」、8名(40.0%)が「まあまあ満足した」と回答した。評価の理由(自由記述)は、「地元の人が優しい(評価:とても満足した)」「普段は体験することができないことを体験できたから(評価:とても満足した)」「体験活動がしっかりと組み立てられていて、良い体験ができた。時間も自由な時が多く、体力をみながら参加ができた(評価:とても満足した)」「宿がイマイチ(評価:まあまあ満足

した)」「体験は良かった。別の体験もしたい(評価:まあまあ満足した)」であった。

5) ワーケーション参加後の神奈川県西部(小田原市、南足柄市、足柄上郡、足柄下郡)地域に対する印象の変化

「ワーケーション参加後の神奈川県西部地域に対する印象の変化」は、15名(75.0%)が「良い方向に変わった」、5名(25.0%)が「変化なし」と回答した。「印象が良い方向にどのように変化したか(自由記述)の回答は表2に示す通りである。

表2 良い方向に変わったと回答した理由 (個人が特定できる情報を削除した上で、出来る限り原文のまま記載)

・魅力ある歴史や人が(文化)いってもっと知りたいと思った。
・土地の持つ豊かさを知ることができたのでよかったです。
・里山にきれいな風景。
・良いがより良く変わった。人が温かい。
・直接地元の方と交流したことで得られた情報や人柄がよかった。
・やっぱり地方もあたたかみがあって良いなと思いました!
・色々の特産物売り出そうとしている事。
・それぞれの質が良く、人々もあたたかく、静かな感じで過ごしやすい。
・お仕事体験が楽しかったです。
・足柄への興味が強くなった。

6) ワーケーション参加後のワーケーションに対する印象の変化

「ワーケーション参加後のワーケーションに対する印象の変化」は、9名(45.0%)が「良い方向に変わった」、11名(55.0%)が「変わらなかった」と回答した。印象が良い方向にどのように変化したか(自由記述)の回答は表3に示す通りである。

表3 良い方向に変わったと回答した理由 (個人が特定できる情報を削除した上で、出来る限り原文のまま記載)

・実際に活動している人たちとの触れ合いがあって、質問したり話を聞いたのが良かった。
・地域や農業に関することの説明がとても丁寧で充実した内容でした。
・日常のせまい世界で生きていて、しんどいと思うこともあります、働く場を変えることで視野が広がって心に余裕がうまれました!
・地域の人々とふれ合いができたので良かった。
・お仕事体験が楽しかったです。
・自然の近くでお仕事ができる為、リフレッシュになる。

7) ワーケーションに参加して得られたことや感じたこと(複数回答)

「ワーケーションに参加して得られたことや感じたこと」の集計結果を図3に示す。「地域の人と交流する機会を得られた」が15名(75.0%)最も多く、次いで「神奈川県西部(箱根・小田原)をプライベート(旅行など)で再度訪れたい」12名(60.0%)、「今後も地域のひととの交流を続けたい」11名(55.0%)の順であった。その他(2名)の回答は「多くの素晴らしいところがある」「自分自身に対するシゲキになったと思う。新しい気力を自覚した」であった。

8) ワーケーションを実施する上で必要と考えるもの(複数回答)

「ワーケーションを実施する上で必要と考えるもの」の集計結果を図4に示す。「地域の魅力を体験できるアクティビティや体験コンテンツ」が14名(70.0%)で最も多く、

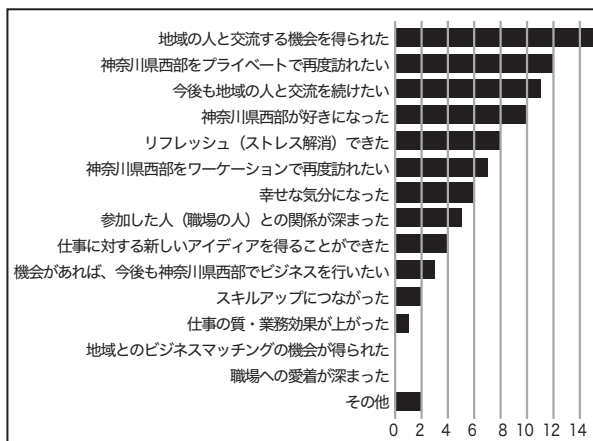


図3 ワークーションに参加して得られたことや感じたこと（複数回答可）

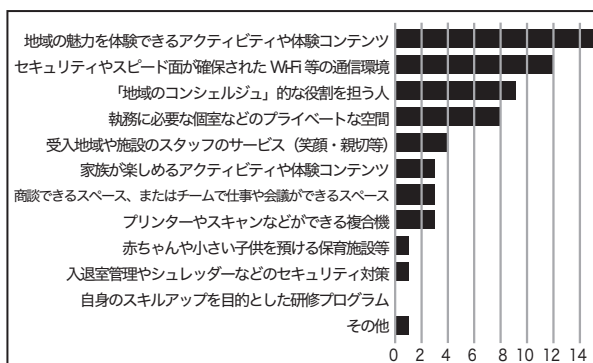


図4 ワークーションを実施する上で必要と考えられるもの（複数回答可）

次いで「セキュリティやスピード面が確保された Wi-Fi 等の通信環境」12名（60.0%）、「地元の企業や人との繋がりをサポートする地域のコンシェルジュ的な役割を担う人」9名（45.0%）の順であった。その他（1名）の回答は、「喫煙所、喫煙席」であった。

9) 今回のワークショップで満足できた点（複数回答）

「今回のワークショップで満足できた点」は、「地元の企業や人との繋がりをサポートする地域のコンシェルジュ的な役割を担う人」「地域の魅力を体験できるアクティビティや体験コンテンツ」「セキュリティやスピード面が確保された Wi-Fi 等の通信環境」が各4名（20.0%）で最も多く、次いで「受け入れ地域のスタッフのサービス（笑顔・親切等）」3名（15.0%）の順であった。その他（3名）の回答は、「農業は甘くないと感じることが出来た」「自然とふれあえる、温泉に入れる」「くつろげる部屋だった」であった。

10) 地域と継続的に関わり、

関係性を深めていくために必要なもの

「地域と継続的に関わり、関係性を深めていくために必要なもの」の集計結果を図5に示す。3分の2以上（15名以上）が「必要」（「非常にそう思う」「そう思う」と回答した項目は、「経済的な余裕が必要である」（「非常にそう思う」9名、「そう思う」11名）、「地域の人の良好な人間関係の構築が必要である」（「非常にそう思う」9名、「そう思う」10名）、「地域と関わる時間的な余裕が必要である」（「非常にそう思う」6名、「そう思う」13名）、「買い物などの生活の利便性が必要である」（「非常にそう思う」5名、「そう思う」12名）の4項目であった。自由記述の回答は表4に示す通りである。

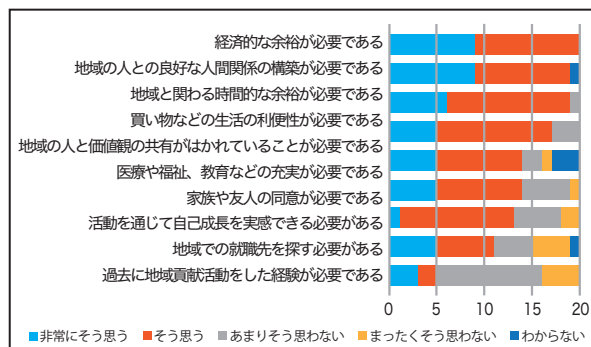


図5 地域と継続的に関わり、関係性を深めていくために必要なもの

表4 地域と継続的に関わり、関係性を深めていくために必要なもの（個人が特定できる情報を削除した上で、出来る限り原文のまま記載）

・ 貴重でももしもしい体験をありがとうございました！ぜひ機会があれば、今後も大井町の地域の方と交流を続けていきたいと思います。
・ 再会できるイベントがあるといい。
・ 2泊3日貴重な体験をありがとうございました！ 次はハンター塾で来ます！目指せ若手ハンター！
・ 地域の人と来訪者のお互いが相手の求めていることを理解していることがとても重要だと感じました。
・ 定期的に訪問できるような補助施策や外来者向けのイベントがあると良い。
・ 地域からの発信（SNSなど）で興味を引くもの（イベント情報など）があれば再訪することもあると思います。
・ 今回のイベントに参加でき、ありがとうございました。 地元の農家と連絡を続けていきたい。

11) ワークーション参加前後の神奈川県西部（小田原市、南足柄市、足柄上郡、足柄下郡町）への考え（気持ち）や態度の変化

ワークショップ参加前後の「神奈川県西部（大井町・南足柄市）への考え（気持ち）や態度」の変化の集計結果を表5に示す。ワークショップ参加前と比べて、参加後に肯定的な回答（「非常にそう思う」「そう思う」の合計）が増えた項目は、「周囲の人に神奈川県西部をおすすめしたい」（15名→19名）、「ふるさと納税の返礼品購入などを通じて、神奈川県西部に関わりたい」（11名→12名）、「神奈川県西部の人たちと交流したい」（16名→19名）、「神奈川県西部を継続的に訪問したい」（18名→19名）、「神奈川県西部に拠点を持つ事業所で、本業として仕事（業種は問わず）を行いたい」（9名→10名）、「神奈川県西部で、直接地域のためになる貢献活動（ボランティアや共助活動など）を行いたい」（13名→15名）の6項目であった。

5. 受け入れ協力者

1) 今回実施したような神奈川県西部での取り組みについて、どのように感じたか

「今回実施したような神奈川県西部での取り組みについて、どのように感じたか」は、10名（62.5%）が「非常に良いと思う」、5名（31.3%）が「良いと思う」、1名（6.3%）が「あまり良いと思わない」と回答した。その理由（自由記述）は、表6に示す通りである。

2) 今回、参加者の受け入れ実施して、どのように感じたか

「今回、参加者の受け入れ実施して、どのように感じたか」は、7名（43.8%）が「非常に良かった」、9名（56.3%）が「良

表5. ワークーション参加前後の神奈川県西部
(小田原市、南足柄市、足柄上郡、足柄下郡) への考え(気持ち)や態度の変化

	非常に そう思う		そう思う		あまり そう思わない		まったく そう思わない		わからない	
	参加前 (人)	参加後 (人)	参加前 (人)	参加後 (人)	参加前 (人)	参加後 (人)	参加前 (人)	参加後 (人)	参加前 (人)	参加後 (人)
周囲の人に神奈川県西部をおすすめしたい	5	7	10	12	1	0	0	0	4	1
神奈川県西部に関する情報をこまめに入手したい	3	7	16	10	1	2	0	1	0	0
ふるさと納税の返礼品購入などを通じて、神奈川県西部と関わりたい	3	4	8	8	5	7	1	0	3	1
神奈川県西部の人たちと交流したい	3	8	13	11	3	0	0	0	1	1
神奈川県西部を継続的に訪問したい	5	9	13	10	1	1	0	0	1	0
神奈川県西部で開催されるイベントやお祭りに参加したい	3	6	13	10	2	4	0	0	2	0
神奈川県西部に拠点を持つ事務所、本業として仕事(業種は問わず)を行いたい	1	1	8	9	6	6	1	2	4	2
神奈川県西部に拠点を持つ事務所、兼業・副業として仕事(業種は問わず)を行いたい	1	2	13	11	1	2	1	0	4	5
ふだん居住地で行なっている本業の仕事(業務)を、神奈川県西部でテレワークとして行いたい	2	0	8	9	5	6	1	1	4	4
神奈川県西部で、直接地域のためになる貢献活動(ボランティアや共助活動など)を行いたい	2	4	11	11	5	2	0	0	2	1
神奈川県西部の人を使う新たな商品やサービスを創出する活動をしたい	4	3	11	8	3	6	1	0	1	1
神奈川県西部で、地域資源の保全や管理に関わる活動(自然保護や環境保全、里山維持など)を行いたい	3	2	14	14	2	2	0	0	1	0
できれば、神奈川県西部に住宅を持って一定の期間暮らしたい(本拠地は別にある)	2	2	11	8	3	5	1	0	3	3
神奈川県西部に生活の拠点を移し、地域の人たちと関わりを持ち、コミュニティに参加したい	1	2	11	9	4	4	1	0	3	3

表6 今回実施したような神奈川県西部での取り組みについて、どのように感じたか
(自由記述)
(個人が特定できる情報を削除した上で、出来る限り原文のまま記載)

(非常に良いと思う)

- ・ 農業の活動を深める活動として、大変良いと思います。又、県西地区のPRは今後も重要だと思います。
- ・ 関係人口の創出のきっかけになると思う。
- ・ 県西としてのまとまりがあれば、ご当地メニューやご当地グッズなど観光地としてのみよくアップにつながるのととても良いと思う。
- ・ 各地域の市町での団体の共通認識を高めてこの様なイベントを推進していくことが必要です。
- ・ 移住者を増やすのに良いきっかけ作りになると思います。
- ・ 関係人口を増やすために有意義だと思う。
- ・ 自然豊かで、県内地域別では自給率も高いエリア、都心に住んだりするワーカーの方にとっては癒しの空間であると思います。現地では地場産業の空洞化も懸念事項となっているが、関係人口の増加により、資源の再付加価値化もできる。みりよく溢れる地域になると考えている。

(良いと思う)

- ・ 人口減少(農家)するなか、少しでも都会から田舎暮らしに興味を持ってくれる取組みであります。
- ・ 初めての事で具体的に何をどうして良いかとまどいました。
- ・ 人(地元)との交流と関心を持ってもらえる。

(あまり良いと思わない)

- ・ 行政が呼びかけなくても来る人は来ると思います。

表7 今回、参加者の受け入れ実施して、どのように感じたか(自由記述)
(個人が特定できる情報を削除した上で、出来る限り原文のまま記載)

(非常に良かった)

- ・ あまり仕事がなく申し訳なかったですが、すでに興味を持って参加されている方なので、コミュニケーションがスムーズで楽しく交流できました。
- ・ 受け入れ側としても楽しめました。
- ・ 西部の地域に興味を持ってもらえることは素晴らしいことだと思う。

(良かった)

- ・ 収穫等を手伝っていただいた点がたすかりました。将来的には一般の農家宅で実施できると良いですね。
- ・ 農家以外の人との交流が図れた。
- ・ 平日の受け入れであれば、もっと多くの仕事を体験していただくことができた。
- ・ 当施設に興味を持っていただいた方に、より理解を深めていただけるのは、とてもよかったです。
- ・ 非常に良い方で明るく元気な方で良かったと思います。
- ・ 数人の団体の方は初めて受けたが、コミュニケーションの内容が深く良い会話等が出来て参考になりました。
- ・ 仕事を手伝ってもらった分、単純に助かる。
- ・ 個々の事情などもわかった。

4) 今回の取り組みに限らず、(一社)神奈川県大井の里体験観光協会と連携した取り組みを継続したいと思うか

「今回の取り組みに限らず、(一社)神奈川県大井の里体験観光協会と連携した取り組みを継続したいと思うか」は、7名(43.8%)が「非常にそう思う」、9名(56.3%)が「そう思う」と回答した。その理由(自由記述)は、表9に示す通りである。

5) 今後も継続して実施する場合、課題になること、改善・整備すべきこと(自由記述)

「今後も継続して実施する場合、課題になること、改善・整備すべきこと」の回答は、表10に示す通りである。

かった」と回答した。その理由(自由記述)は、表7に示す通りである。

3) 今回今後もこのような取り組みを実施していきたいと思うか

「今後もこのような取り組みを実施していきたいと思うか」は、4名(25.0%)が「非常にそう思う」、11名(68.8%)が「そう思う」、1名(6.3%)が「どちらともいえない」と回答した。その理由(自由記述)は、表8に示す通りである。

表8 今後もこのような取り組みを実施していきたいと思うか
(個人が特定できる情報を削除した上で、出来る限り原文のまま記載)

(非常にそう思う)
・地域の良い所をもっと知ってもらいたいです。
・関係人口の増加と地域の魅力アップには不可欠な取り組みだと考えます。
(そう思う)
・大変良いことだと思います。
・限界集落地域での活動においては、必要な取り組みであり、今後情報交換しながら行っていきたい。
・楽しかった。

(どちらともいえない)
・希望があるなら受入れは可能。

表9 今回の取り組みに限らず、(一社) 神奈川県大井の里体験観光協会と連携した取り組みを継続したいと思うか
(個人が特定できる情報を削除した上で、出来る限り原文のまま記載)

(非常にそう思う)
・活用出来ない地域資源をどんどん発掘、活用していただきたいです。良いものを持っていても発信力が無かったりするので、協会のみなさんと連携しつつ、他のみなさんと連携していきたいです。
・今回の実施の足りなかった点等を再検証し、西部の魅力アップ、地域の雇用創出も含めていきたいと考えています。
・いつも楽しい。
・色々なコンテンツを持ってもらえるので。

(そう思う)
・日頃の情報交換が必要だと思うから。
・関係は多い方が良い。

表10 今後も継続して実施する場合、課題になること、改善・整備すべきこと
(自由記述)
(個人が特定できる情報を削除した上で、出来る限り原文のまま記載)

・アナウンス、募集についてupしていきましょう。
・女性の参加者の場合、トイレが課題となる。
・参加者が増えると良いと思います。
・アナウンス手法(人集め)、アピール。
・平日で少人数でお願いします。
・日頃の活動の情報収集が必要だと思います。
・仕事あまり無い時や逆に忙しすぎる時、うまく交流できるかなと思います。
・昼食について工夫の余地があったと思います。
・実施計画についても事前にスケジュール、実施内容のすり合わせというか、プログラムの内容のボトムアップ(満足度の向上)のための意思疎通をはかれればよかった。
・タイムスケジュール。時間がわかると良い。
・行政等の補助がないと成り立たない。

6. まとめ

1) 参加者のモデルツアーへの参加目的及び動機

事前調査の結果、半数の参加者が、神奈川県内の県西地域の魅力として「自然でリフレッシュ」と「都心から電車でのアクセスが良い」を挙げていた。また、ワーケーションを実施する理由に関しても、6割以上の参加者が「リフレッシュ効果」と回答した。これらの結果から、参加者の多くは自然の中でのリフレッシュ体験を目的にモデルツアーに参加したことが分かる。また、都心からの電車でのアクセスの良さは、神奈川県内の県西地域のアドバンテージとなっている。

2) ワーケーション(モデルツアー)の満足度

事後調査の結果、全参加者が今回のワーケーションに対して「とても満足した」または「まあまあ満足した」と高い評価をつけた。自由記述から得られた評価理由は、ポジティブなものでは「地元の人が優しい」「普段は体験できないことを体験できた」「しっかりと組まれた体験活動」が挙げられた。

3) ワーケーション参加後の神奈川県西部地域に対する印象の変化と関係人口の創出の可能性

7割以上の参加者がワーケーション参加後の神奈川県西部地域に対する印象が「良い方向に変わった」と回答した。その理由として、多くの参加者が「人の温かさ」を挙げ、他にも「きれいな里山の風景」や「土地が持つ豊かさ」など、神奈川県西部地域の自然に関する理由が挙げられた。また、ワーケーションに参加して得られたことや感じたことに関しては、半数以上の参加者が「地域の交流の機会が得られた」「神奈川県西部をプライベートで再度訪れたい」「今後も地域の人との交流を続けたい」「神奈川県西部が好きになった」を挙げている。モデルツアー参加前後の神奈川県西部地域への考えや態度の変化に関しても、「神奈川県西部をおすすめしたい」「神奈川県西部の人たちと交流したい」と考える参加者は増加している。これらの結果から、多くの参加者が地元の人との交流に満足し、今後も神奈川県西部を訪れ、地域の人々と交流を望んでいることが伺え、今回のモデルツアーが神奈川県西部地域の関係人口の創出・拡大につながる可能性が示唆された。

4) 受け入れ協力者からみたモデルツアーの良かった点・改善点

今回のモデルツアーについて、多くの受け入れ協力者は、県西地域の魅力をアピールできる良い取り組みであると評価しており、関係人口の創出・拡大のきっかけになり、観光地としての魅力向上につながると感じている。また、参加者とのコミュニケーションを楽しみ、県西地域に興味を持ってもらえることに喜びを感じていることも伺える。今後の課題としては、参加者の満足度を向上させるための仕事(コンテンツ)の検討や整備、参加者を増やすための戦略やアピール方法の検討が挙げられた。評価しており、関係人口の創出・拡大のきっかけになり、観光地としての魅力向上につながると感じている。また、参加者とのコミュニケーションを楽しみ、県西地域に興味を持ってもらえることに喜びを感じていることも伺える。今後の課題としては、参加者の満足度を向上させるための仕事(コンテンツ)の検討や整備、参加者を増やすための戦略やアピール方法の検討が挙げられた。

※調査に関しては、質問紙項目の設計並びに、分析については、文化学園大学安永明智教授に協力をお願いし調査を実施した。



安永 明智(やすながあきとも)

文化学園大学国際文化学部・教授
九州大学大学院人間環境学研究所博士
後期課程修了(博士・人間環境学)
専門は健康心理学
日本健康支援学会・評議員

主な著書:「健康心理学・シリーズ健康心理学と仕事12」
(分担執筆)北大書房